【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【公開番号】特開2019-30757(P2019-30757A)
【公開日】平成31年2月28日(2019.2.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-008
【出願番号】特願2018-222050(P2018-222050)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月5日(2019.8.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者が知覚可能な情報を出力する出力手段と、
前記出力手段を制御する制御手段と、
前記情報の出力強度を調節するための操作が可能な操作手段と、を備え、
前記制御手段が前記出力手段を制御して出力させる情報には、第１情報と、第２情報と、が含まれており、
前記第１情報には、音声から構成される第１音情報が含まれており、前記第２情報には、音声から構成される第２音情報が含まれており、前記第１音情報及び前記第２音情報の強度は、音量であり、
前記第２音情報の強度は、前記操作手段の操作によって第１強度又は第２強度に調節が可能であって、前記第１音情報は、前記操作手段の操作によって前記第２音情報の強度が調節されている場合であっても前記第２強度以上の強度にて出力され、前記第１音情報の出力終了条件が成立した後、前記第２音情報は、前記第２強度にて出力され、
前記第１情報には、光から構成される第１光情報が含まれており、前記第２情報には、光から構成される第２光情報が含まれており、前記第１光情報及び前記第２光情報の強度は、光量であり、
前記第２光情報の強度は、前記操作手段の操作によって第３強度又は第４強度に調節が可能であって、前記第１光情報は、前記操作手段の操作によって前記第２光情報の強度が調節されている場合であっても前記第４強度以上の強度にて出力され、前記第１光情報の出力終了条件が成立した後、前記第２光情報は、前記第４強度にて出力されることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決する遊技機は、遊技者が知覚可能な情報を出力する出力手段と、前記出力手段を制御する制御手段と、前記情報の出力強度を調節するための操作が可能な操作手

段と、を備え、前記制御手段が前記出力手段を制御して出力させる情報には、第１情報と、第２情報と、が含まれており、前記第１情報には、音声から構成される第１音情報が含まれており、前記第２情報には、音声から構成される第２音情報が含まれており、前記第１音情報及び前記第２音情報の強度は、音量であり、前記第２音情報の強度は、前記操作手段の操作によって第１強度又は第２強度に調節が可能であって、前記第１音情報は、前記操作手段の操作によって前記第２音情報の強度が調節されている場合であっても前記第２強度以上の強度にて出力され、前記第１音情報の出力終了条件が成立した後、前記第２音情報は、前記第２強度にて出力され、前記第１情報には、光から構成される第１光情報が含まれており、前記第２情報には、光から構成される第２光情報が含まれており、前記第１光情報及び前記第２光情報の強度は、光量であり、前記第２光情報の強度は、前記操作手段の操作によって第３強度又は第４強度に調節が可能であって、前記第１光情報は、前記操作手段の操作によって前記第２光情報の強度が調節されている場合であっても前記第４強度以上の強度にて出力され、前記第１光情報の出力終了条件が成立した後、前記第２光情報は、前記第４強度にて出力されることを要旨とする。